

会 議 録

1 会議名

令和5年度第1回上越市文化財調査審議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和5年度文化行政課事業概要について 報告（公開）

(2) 上越市文化財の今後の指定について 審議（非公開）

3 開催日時

令和5年10月27日（金）午前10時00分から午前11時30分まで

4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟 小会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

上越市審議会等の会議の公開に関する条例第7条第4号に該当するため

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：五百川裕（委員長）、浅倉有子（副委員長）、天野和孝、伊野義博
木島勉、松田慎也、欠席（2名）

・事務局：中西歴史文化指導監

文化行政課：新保課長、佐藤副課長、小林係長、草間主任学芸員

8 発言の内容（要旨）

(1) 令和5年度文化行政課事業概要について（報告）

事務局説明：資料1（小林係長、草間主任学芸員）

○歴史文化推進費について

【伊野委員】

・高田瞽女に関する資料について、文化行政課、歴史博物館のほか、新潟大学、上越教育大学などにも保管されている。デジタル化をした上でアーカイブ化をして活用するなどの検討が今後必要と考える。

【事務局】

・平成3年度に当課でCD化したものを、令和5年度に文化振興課で再販を行った。今後、小林古徑記念美術館も含め、各所の資料の一括した管理も検討したい。

【松田委員】

- ・上越教育大学にも、高田瞽女に関する資料があったと思う。本来一括に保管するのが望ましい。

【浅倉副委員長】

- ・上越教育大学には、小山作之助に関する資料目録などがある。

【伊野委員】

- ・無形の民俗文化財の記録については、自分も参加して進めているが、人手が足りないと感じている。団体が作成したDVDなど、既存の記録類を積極的に収集すべき。
- ・上越市「地域の宝」ガイドブックは、よく出来ていると思う。ただ、学校での活用、どう授業に結びつけるのかが大切。学校に配布するだけでは、なかなか活用されない。地域コーディネーターに協力を依頼するなど、工夫が必要。
- ・学校は、地域に開かれたものであることが大切なので、活用の可能性はある。

【天野委員】

- ・上越市「地域の宝」ガイドブック、北前船カードラリーともに、せっかく作成・実施をしてもなかなか知られていない。PRをもっとしっかり行った方がよいと思う。配布するだけでなく、市職員が出向き説明をするなども必要。

【五百川委員長】

- ・その通り。学校に数部配布するだけでは、活用されない。教科別の主任会議の場などを活用して、説明をするなどするとよいと思う。

【事務局】

- ・学校教育課と相談をしたいと思う。

【伊野委員】

- ・上越市「地域の宝」ガイドブックの二次元コードについては、可能性が広がり、よいと思う。ガイドブックに掲載されていない情報が見ることができるのはよいこと。無形の民俗文化財は、動画を掲載することも効果的。

【浅倉副委員長】

- ・地域独自予算の、地域の名所巡りと次世代啓発事業（高田区）は、学校が実施しているのか、宮口古墳群は花の活動が行われているが、水科古墳群には動きがあるのか。

【事務局】

- ・高田区の事業は、学校の実施ではなく、南本町小学校区まちづくり協議会。水科古墳群は、地元町内会の方々に草刈りや清掃などをしてもらっている。

【五百川委員長】

- ・谷内池とオニバスについて、オニバスの育成には池を攪拌する必要があるが、谷内池が農業用のため池として使われなくなり、掃除も行われない状況となり、オニバスも育たなくなっていた。現在、三和中学校、地元の方や理科の先生などで取り組み、活動が行われている。

○歴史的建造物等整備支援事業

【木島委員】

- ・事業の財源は何か。市独自のものか。

【事務局】

- ・(財) 民都機構拠出金とまちづくり基金、合計1.5億円の基金とその運用益を財源としてきた。
- ・今後は企業版ふるさと納税などを財源とする見込み。

(2) 上越市文化財の今後の指定について 審議 (非公開)

9 問合せ先

文化行政課・歴史文化係 TEL : 025-545-9269 (内線 616-1241)

E-mail : bunkagyousei@city.joetsu.lg.jp

10 その他

当日資料も併せてご覧ください。